



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東 福

上場会社名 トラストホールディングス株式会社
 コード番号 3286 URL <http://www.trust-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜久田 匡宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 宮石 啓司

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	2,350	△45.1	△94	—	△147	—	△110	—
26年6月期第1四半期	4,277	—	556	—	519	—	300	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △109百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 300百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	△23.37	—
26年6月期第1四半期	63.49	62.83

(注) 当社は、平成25年7月1日に単独株式移転により設立されたため、平成26年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第1四半期	14,749	1,007	6.8	212.92
26年6月期	12,853	1,156	9.0	244.56

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 1,007百万円 26年6月期 1,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	8.20	—	8.20	16.40
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	8.20	—	8.20	16.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	13.2	580	△15.7	430	△19.5	220	34.9	46.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	5,160,000 株	26年6月期	5,160,000 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	427,985 株	26年6月期	432,085 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	4,728,449 株	26年6月期1Q	4,727,000 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与ESOP信託が所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順等から個人消費は弱含みで推移いたしました。政府・日銀による経済政策や大胆な金融政策などを背景として、企業業績の向上や雇用環境の改善など、着実に景気回復の兆しが見られてきております。

このような状況の中、当社グループは駐車場事業におきましては、既存駐車場の活性化及び新規駐車場の開発に注力、不動産等事業におきましては、当第1四半期連結累計期間においては新築マンションの竣工はなく、前連結会計年度竣工のマンションの販売を継続して実施し、10戸の引渡しを行いました。

なお、当連結会計年度においては新築マンション3棟156戸「トラスト前原中央ネクサージュ（福岡県糸島市、72戸、平成27年1月竣工予定）」、「トラストネクサス小野田駅前（山口県山陽小野田市、36戸、平成27年2月竣工予定）」、「トラストネクサス長崎オーシャンコート（長崎県長崎市、48戸、平成27年5月竣工予定）」の竣工を予定しておりますが、竣工時期がいずれも第3四半期連結累計期間以降となっております。従いまして第2四半期連結累計期間までは、不動産販売関連経費を先行して負担することになり、経常損失となる見込みですが、年度計画においては経常利益430百万円を確保する計画としております。

以上の結果、売上高は2,350,341千円（前年同期比45.1%減）、営業損失94,451千円（前年同期は556,202千円の営業利益）、経常損失147,741千円（前年同期は519,427千円の経常利益）、四半期純損失は110,515千円（前年同期は300,129千円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますが、「ウォーター事業」については前第4四半期連結累計期間より事業を開始しているため、前第1四半期連結累計期間における該当事項はありません。

①駐車場事業

主に前連結会計年度にオープンした駐車場の早期収益化を図ることを中心とした既存駐車場の活性化に注力することに加え、低採算駐車場の地代交渉、閉鎖等の実施、新規駐車場の開発等を積極的に行い、前連結会計年度において営業利益が91,079千円と低迷していた駐車場事業の大幅な収益改善を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は1,713,279千円（前年同期比17.7%増）、営業利益111,942千円（前年同期比131.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末の駐車場数は769ヶ所（前年同期より103ヶ所増、前連結会計年度末より7ヶ所増）、車室数は28,691車室（前年同期より5,250車室増、前連結会計年度末より641車室増）となっております。

②不動産等事業

前第1四半期連結累計期間においては、新築マンション「トラスト新宮中央ネクサージュ（福岡県糟屋郡新宮町）」が竣工、113戸の引渡しを行ったのに対し、当第1四半期連結累計期間においては新築マンションの竣工がありませんでしたが、前連結会計年度竣工のマンション「トラスト大牟田カルディオ（福岡県大牟田市）」、「トラストネクサス新椋野（山口県下関市）」の販売を継続して実施し、10戸の引渡しを行いました。

以上の結果、売上高237,553千円（前年同期比91.5%減）、営業損失112,550千円（前年同期は509,566千円の営業利益）となりました。

③ウォーター事業

水素水の販売を中心として行うウォーター事業につきましては、前連結会計年度より段階的に事業を開始いたしました。当第1四半期連結累計期間におきましては、認知度向上、固定客確保のため、先行投資として広告宣伝費等を積極的に投入してまいりました。

以上の結果、売上高200,399千円、営業損失83,614千円となりました。

④その他事業

その他事業につきましては、前連結会計年度より運営を開始いたしました温浴施設「那珂川清滝（福岡県筑紫郡那珂川町）」をはじめとし、ゴルフ練習場「カスターネット倶楽部水巻（福岡県遠賀郡水巻町）」、広告事業、メディアカルサービス事業等の新規事業は概ね堅調に推移いたしました。また、警備事業におきましても、徐々にではありますが契約を積み重ねてまいりました。

以上の結果、売上高199,109千円（前年同期比649.1%増）、営業損失2,183千円（前年同期は8,011千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して330,992千円増加し、4,655,892千円となりました。これは主に、仕掛販売用不動産の増加423,993千円、商品及び製品の増加58,587千円、販売用不動産の減少163,767千円等によるものであります。固定資産は前連結会計年度末と比較して1,564,125千円増加し、10,093,162千円となりました。これは主に、土地の増加1,481,798千円、償却によりのれんが23,705千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は14,749,054千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,895,117千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して835,989千円増加し、6,062,685千円となりました。これは主に、買掛金の増加40,739千円、短期借入金の増加743,800千円、1年内返済予定の長期借入金の増加138,979千円、未払法人税等の減少139,221千円等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末と比較して1,207,841千円増加し、7,678,772千円となりました。これは主に、長期借入金の増加1,122,799千円等によるものであります。

この結果、負債合計は13,741,458千円となり、前連結会計年度末に比べ2,043,831千円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して148,714千円減少し、1,007,596千円となりました。これは主に、配当金の支払40,466千円、四半期純損失の計上110,515千円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は6.8%（前連結会計年度末は9.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました「平成26年6月期決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、株式会社ジーエートラストを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を資産又は負債に計上しております。

当該会計方針の変更による影響はありません。

なお、従業員へ割り当てられたポイントに対する引当金については、内容をより明瞭に表示するため「退職給付に係る負債」から「株式給付引当金」に表示科目を変更しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,425	1,370,183
受取手形及び売掛金	242,573	298,933
販売用不動産	750,906	587,138
仕掛販売用不動産	1,230,581	1,654,574
商品及び製品	13,510	72,097
原材料及び貯蔵品	26,953	23,437
その他	674,598	654,859
貸倒引当金	△4,648	△5,331
流動資産合計	4,324,900	4,655,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,099,129	2,050,792
土地	4,151,736	5,633,534
その他（純額）	670,736	764,513
有形固定資産合計	6,921,602	8,448,840
無形固定資産		
のれん	563,693	539,988
その他	170,791	173,720
無形固定資産合計	734,484	713,708
投資その他の資産		
その他	875,197	932,954
貸倒引当金	△2,247	△2,341
投資その他の資産合計	872,949	930,613
固定資産合計	8,529,037	10,093,162
資産合計	12,853,937	14,749,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,050	192,790
短期借入金	2,754,000	3,497,800
1年内返済予定の長期借入金	938,951	1,077,931
未払法人税等	155,055	15,834
賞与引当金	—	14,880
役員賞与引当金	—	6,950
ポイント引当金	20,725	20,295
返品調整引当金	—	296
資産除去債務	1,757	5,537
その他	1,204,153	1,230,370
流動負債合計	5,226,695	6,062,685
固定負債		
長期借入金	5,808,491	6,931,290
株式給付引当金	5,571	4,930
退職給付に係る負債	32,588	32,241
資産除去債務	44,963	41,516
その他	579,316	668,793
固定負債合計	6,470,931	7,678,772
負債合計	11,697,626	13,741,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	418,561	418,561
資本剰余金	219,651	219,651
利益剰余金	726,411	575,429
自己株式	△208,072	△206,760
株主資本合計	1,156,550	1,006,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△251	701
その他の包括利益累計額合計	△251	701
少数株主持分	11	13
純資産合計	1,156,311	1,007,596
負債純資産合計	12,853,937	14,749,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,277,502	2,350,341
売上原価	3,186,817	1,800,099
売上総利益	1,090,685	550,241
販売費及び一般管理費	534,482	644,693
営業利益又は営業損失(△)	556,202	△94,451
営業外収益		
受取利息	271	5,420
受取配当金	1	—
投資有価証券売却益	1,021	648
その他	4,423	3,514
営業外収益合計	5,717	9,583
営業外費用		
支払利息	30,466	45,591
その他	12,026	17,281
営業外費用合計	42,492	62,872
経常利益又は経常損失(△)	519,427	△147,741
特別利益		
固定資産売却益	107	—
特別利益合計	107	—
特別損失		
減損損失	976	1,779
固定資産除却損	—	15
特別損失合計	976	1,795
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	518,557	△149,537
法人税、住民税及び事業税	199,612	10,993
法人税等調整額	18,816	△50,017
法人税等合計	218,428	△39,023
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	300,129	△110,513
少数株主利益	—	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	300,129	△110,515

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	300,129	△110,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	952
その他の包括利益合計	134	952
四半期包括利益	300,263	△109,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,263	△109,563
少数株主に係る四半期包括利益	—	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	1,455,666	2,795,254	4,250,921	26,581	4,277,502	—	4,277,502
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	201	3,444	3,645	9,117	12,762	(12,762)	—
計	1,455,868	2,798,698	4,254,566	35,698	4,290,265	(12,762)	4,277,502
セグメント利益 又は損失(△)	48,384	509,566	557,951	△8,011	549,939	6,263	556,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去44,790千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△38,841千円及び棚卸資産等の調整額314千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	駐車場 事業	不動産等 事業	ウォー ター事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,713,279	237,553	200,399	2,151,232	199,109	2,350,341	—	2,350,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	810	5,766	—	6,576	11,267	17,843	(17,843)	—
計	1,714,089	243,319	200,399	2,157,808	210,376	2,368,185	(17,843)	2,350,341
セグメント利益又は損失(△)	111,942	△112,550	△83,614	△84,222	△2,183	△86,406	△8,044	△94,451

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告事業、警備事業、メディカルサービス事業、アミューズメント事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去79,297千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,355千円及び棚卸資産等の調整額13千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「ウォーター事業」について金額的重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、「ウォーター事業」については前第4四半期連結会計期間より事業を開始しているため、前第1四半期連結累計期間における該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(連結子会社における重要な固定資産の取得)

当社は平成26年10月31日開催の取締役会において、連結子会社であるトラストメディカルサポート株式会社が固定資産を取得することを決議しております。

(1) 取得の目的

高齢化社会で需要の高まる高齢期医療・介護の業界において、医療法人の運営する病院・介護施設等への最適な経営資源の提供を行い、地域社会と共に発展を目指すことをコンセプトに事業展開しております。

その一環として、新たに病院を建築し、医療法人へ賃貸することにより、その安定的な賃料収入が今後の業績に寄与するものと判断いたしました。

(2) 建築計画の概要

計画建物：病院 鉄骨造地下1階、地上4階建

所在地：福岡市南区皿山二丁目995番31 他（自社所有地）

敷地面積：1,773.45㎡

延床面積：2,771.42㎡

取得価額：約7億円（建築工事他）

(3) 取得の日程

平成26年10月31日 取締役会決議

平成27年8月 竣工（予定）

(4) 資金調達方法

自己資金及び金融機関借入れ

(5) 当該取得が連結業績に与える影響

平成27年8月に竣工予定であるため、平成27年6月期の損益に与える影響は軽微であります。